

公孫樹

2022年6月発行
第125号
浄土宗慶蔵院
伊勢市小俣町元町1211
TEL 0596 (22) 3726

「てらこや塾」の個別指導・「絵画」・「英語」・「茶道」のサロン活動は、有料となりましたが、日程表のとおり開催されています。

「永代共養墓」新設に向けての検討が開始されています。



西里定一 作

人間の世のある限り

戦争で多くの人が死んでいる。あつてはならないことだ。ウクライナ人も、ロシア人も、どちらの人間も、戦争で死んではならない。どこの国の人であっても、戦争株式会社であっても、傭兵であっても、軍人であっても、義勇兵であっても、戦争で死んではならないのだ。命令で人を殺すのか。怒みで人を殺すのか。憎しみで人を殺すのか。従わないからと人を殺すのか。殺されないために人を殺すのか。武器を持つから人を殺すのか。武器があるから人が殺されるのか。殺されないために武器を増やすのか。武器が増やされるから人を殺すことになるのか。

殺すことが正義になるのか。殺されないために人を殺すことは、正義になるのか。

正義の戦争はあるのか。正義の戦争であるならしてもいいのか。何が正義なのか。人の命を戦争で奪って、正義といえるのか。

横井久美子は歌った。「にんげんをかえせ」を、
峠三吉は、「人間の起き上がってくるところを描こう」とよく言うていたという。起たねばならぬ。「人間を返せ」と。

ちちをかえせ ははをかえせ

としよりをかえせ

こどもをかえせ

わたしをかえせ わたしにつながる

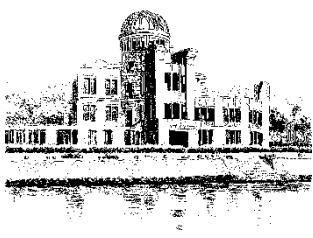
にんげんをかえせ

にんげんの にんげんのよのあるかぎり

くずれぬへいわを

へいわをかえせ

峠 三吉



6月の行事予定



1日(水)	写経	午前10時～12時
8日(水)	落語会「いちご亭」 南遊亭栄歌・安楽亭東風	午後7時～ 一会館にて 無料
15日(水)	健康教室 歩き方教室 講師 馬場久美子先生	午後1時～3時 参加費 500円
22日(水)	男性詠唱隊 地蔵講	午後1時半～ 午後3時
25日(土)	戦没者慰霊	午前11時～12時
4日18日(土)	絵画サロン 講師 山寄淑子先生	午後7時～8時半 一会館にて 参加費1回500円
11日25日(土)	英語歌クラブ 講師 八木和美先生	午後1時～3時 一会館にて 参加費1回 500円 テキスト月 500円
9日(木)	ともいき英語サロン 講師 三浦邦昭先生	午前10時～11時半 午後1時半～3時 一会館にて 参加費1回1000円
10日24日(金)	茶道教室 講師 河井宗恵先生 樋口宗恵先生 田島宗紀先生	午後7時～子供茶道教室 7時半～大人茶道教室 大人500円 一会館にて

慶蔵院豆知識

22

先日新聞で、千枚田の田植えが始まったとの記事を読みました。昔、友人の、千枚田の絵を描くバスツアーに同乗させてもらったことがあります。千枚田の地域に入るには、バスは村の外に止めておかなければなりませんでした。広い広い千枚田の中には、建物らしいものは一切建てられていません。高いところに登ってみてみると、その数の多いこと多いこと…。この一枚、一枚の田に映った月が、「田ごとの月」という名曲を生み出したのかもしれない。

広い視野を持った、人の手によって作り出された自然の美しさ…、健やかで、穏やかな暮らしの中の知恵があふれ出てくるような景色。農耕民族の伝統と歴史が積み重なった風景…。長い時間の蓄積…。

二五百年前、お釈迦様は仏法僧の三宝に帰依することを解かれました。大本山増上寺の官長でもあった

椎尾辨匠へんきやう先生は、三宝に帰依して生きる姿を「明る

く・正しく・仲良く」生きることを示され、この教えは宗派を超えて実践されています。

「偉大なるロシア」の神話に取りつかれたようなブーチン政権。祖国を大切にする気持ちには、大きな国も小さな国も変わりありません。日本の国土と同じほどの小麦畑が青い空のもとに広がる美しい国、ウクライナ。どの国の人の命もかけがえない命、棚田一枚一枚が映す月のような命を、即時停戦によって守り抜かなくてはなりません。人類の英知を結集して。



浄土宗新聞を無料で お渡しします！！

6月号読みどころ
3ページをご覧ください。伊勢教区宮川組内の西光寺さんの記事が出ています。「お寺を子どもの居場所に」と、NPOで子どもたちと野菜を育て、収穫したものをみんなで一緒に食べるという取り組みです。「地域に開かれた寺院を目指して」活動している姿が紹介されています。



五月の演題、東風さんは「粗忽もの」、栄歌さんは「どろぼう」。住職法話は、佐々木朗希を育てた「ちから」を仏心と解きました。六月は住職は医療の体験法話を語ります。落語の演題は「お楽しみ」。



落語
南遊亭栄歌

慶蔵院「二会館」にて
出演 法話 慶蔵院住職 前島格也

落語会「いちご亭」 無料です
(面白かったらおひねりをお願いします！)
今月は 第2水曜 8日 午後7時



おしらせとおねがい



神谷成章先生が、世界の農業の再生に向けて、「ちから」となる資材を完成させたそうです。自ら育てた「うり」を、皆さんに食べてもらいたいと、講演に来てくれます。7月末に、本堂で行います。ご期待下さい。詳しい日程は、七月号で…。

※詠唱の鉦・おりんのご協力、
ありがとうございました。

「英語 歌クラブ」のご案内
1960年、70年代ラジオで聴いた
懐かしい洋楽。80年代、90年代
今でもよく耳にする洋楽。



それに、慣れ親しんでいる日本の学校唱歌、英語やイタリア語の原曲をネットで鑑賞しませんか。語句の把握、朗読。そして、ちょっと歌ってみましょう。

毎月 第2第4土曜 午後1時～3時
会費：毎回500円 テキスト：毎月500円

「絵画サロン」のご案内

小学生から60代の方達が水彩、色鉛筆、クレヨンなどを使って自由な画題で絵を楽しんでいます。今までに描かれた絵は、動物、人物、静物、風景、仏画（模写）などです。週末のひと時、自由にご自分を表現してみませんか。

毎月 第1第3土曜 午後7時～8時半
会費：毎回500円

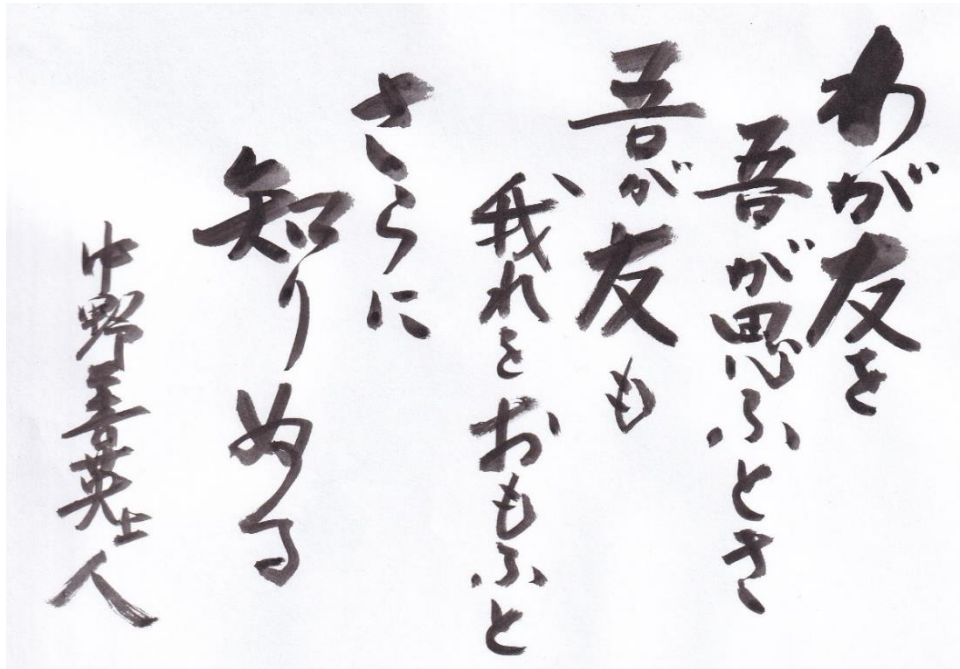
※両教室ともいつでも入会できます。



住職の健康回復への道のり (五)

毎週二回、八尾市まで施療通い、これまでの生活習慣を見直しています。「病気になるたのは、自分が病気の原因を作ったのだから、自分で治す努力をしなければならぬ…」と覚悟して取り組んでいます。

- ① よく噛んで、おなかがすいたときに、適量に食べることを通して、無理をすることなく、体重は、76キロから67キロ台に減りました。
- ② 木魚をたたくとき痛かった右中指の付け根の骨が痛くなくなりました。
- ③ 日常生活の中で急な尿意に対する不安が消え、遠出や法要への調整がスムーズにできるようになりました。
- ④ 車を廃棄して、お墓や郵便局などには、自転車を通っています。
- ⑤ 朝の勤行の念仏は、ポク、ポク、ポクと木魚と一緒に、南無阿弥陀仏を20回称えて、ポク、ポク、ポクと三回で息継ぎをして、繰り返し、10分間、息が乱れることなく、続けることができるようになりました。
- ⑥ 畑作業の後、身体のしこりや張りに気をつけて、自分でケアをするようにできるようになりました。
- ⑦ 冷たいもの、体を冷やすものは食べません。お風呂は半身浴。温めるためにホットパックをお腹に乗せ、五本指の靴下をはいて眠ります。熟睡ができて、疲れが取れます。



横井久美子さんにゆかりの深い、お二人の講演を、相次いで聞く機会を得た。五月十四日は、いせ九条の会主催による伊藤千尋氏の講演。演題は「私たちが、連帯の時代にいる」伊藤氏は一月二十七日、横井さんの追悼コンサートでも話をしてくれた方だ。

「辺野古に見る戦い方にヒントがある」と伊藤氏は語った。この内容が、横井さんのトークの中身とダブっ聞かえてきた。沖縄では基地反対運動の中で、ゲゲの鬼太郎などを替え歌にして、アピールしているとのこと。誰に対しても敵対関係をつくろうとしない、おおらかさがあるという。一日の活動が終わると、機動隊の青年たちにも声をかけていく、彼らからも「おつかれさんでした」の声がかえってくるという。自然を守り、平和を守る戦いには、敵も味方もない。何時かは、必ず、みんなが理解しあえる時が来る。生命・未来にかかわる同じ人間だと信じているからだ。憲法九条の精神がそこにある。

五月十五日には、絵本と紙芝居の店、地元小俣の「宮川書店」の六十五周年記念講演会。横井さんが「春秋楽座」で歌ってくれた書店でもある。この講演会講師がアーサー・ピナード氏だった。二〇〇七年十月二十八日、東京で開催された横井さんのメッセージライブで、ピナード氏に初めて出会った。第一部が、アーサー・ピナード氏を招いての対談であったのだ。横井さんは、若い、彼の才能を畏敬の念を持って、私たちに語ってくれた。ピナード氏の絵本「ここが家だ ベンシャーンの第五福竜丸」が出版された直後だった。感動的なライブであった。

宮川書店の記念講演後、ピナード氏と握手をかわしながら、横井さんの話をした。十五年前をよく覚えていてくれた。「あのときのメンバーは、よかったですね。横井さんなら、いま、みんなと一緒に歌うでしょうね。歌うこと、大切ですよね。」と、握った手を放そうとはしなかった。通じ合うものがあった。

「人間を返せ。人間の世のある限り、崩れぬ平和を、平和を返せ。…私につながる人間を返せ」と歌った横井久美子の声は、国境を越えて世界に広がる。